



## 重症妊娠悪阻入院症例における長期化予測因子の検討

2011年1月1日から2022年3月31日までに、重症妊娠悪阻として日本医科大学付属病院女性診療科・産科で入院加療を受けられた患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「重症妊娠悪阻入院症例における長期化予測因子の検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2011年1月1日から2022年3月31日まで日本医科大学付属病院女性診療科・産科にて、重症妊娠悪阻ために入院加療を受けられた患者さんの抗ヘリコバクターピロリ抗体価を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：重症妊娠悪阻入院症例における長期化予測因子の検討

研究期間：研究実施許可日～ 2025年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 女性診療科・産科 豊島 将文

### (2) 研究の意義、目的について

本研究の目的は、重症妊娠悪阻で入院を要した患者さんの抗ヘリコバクターピロリ抗体 IgG 陽性が、悪阻の症状の重症化や周産期予後にどのような影響を与えるのかを明らかにすることです。ヘリコバクターピロリ感染が重症妊娠悪阻の病態に関わるのであれば、ピロリ菌の除菌により妊産婦のQOL改善も含めた周産期予後の改善に寄与する可能性があります。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2011年1月1日から2022年3月31日までに日本医科大学付属病院女性診療科・産科にて、重症妊娠悪阻として入院治療を受けられた患者さんの抗ヘリコバクターピロリ抗体価を含む以下の診療情報を解析し、抗ヘリコバクターピロリ抗体価と入院期間の関連についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：抗ヘリコバクターピロリ抗体価、その他の血液検査データ、尿検査データ、年齢、経妊数、経産数、入院時妊娠週数、飲酒・喫煙歴、精神疾患既往、不妊治療の有無、ヘパリン投与の有無、バイアスピリン投与の有無、非妊娠時からの体重変化、非妊娠時BMI、入院期間等

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 女性診療科・産科 准教授 豊島 将文

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表）FAX：03-5685-1791